

## <金標準、高市氏破れ、石破氏の総裁誕生で円高の洗礼・・・>



(出所：オアシス)

FOMC や日銀金融政策決定会合を受け為替市場では、すぐに日米の金融スタンスが変化する事はないと見た思惑から円安・ドル高の動きに金標準先物は高値追いを続けている。

特に中東レバノンのヒズラボに対するイスラエルの攻撃で、地政学的なリスクは高まりを見せている。また中国人民銀行は、政策金利に等しいローンプライムレート 1 年物の金利の据え置きを発表したが、翌日には人民銀行総裁が「今年末までに預金準備率を 0.25% から 0.5% 引き下げるほか、7 日物リバースレポ金利を 0.2% 引き下げ 1.50% にする」と発表し、習近平主席が参加する政治局会議で経済成長率 5% の目標達成のため「強力な金利引き下げを実施」などと表明し、また自民党総裁選で一時利上げに否定的な高市氏が 1 位となり、円相場が 146 円台を試すなど一時 12603 円まで高値を試したが、決選投票で石破氏が勝利すると一転して 142 円台まで円高が進む巻き戻しの動きを見せ、金標準先物は 12120 円まで急落するなど調整安の動きに変化するなど 11800 円へ向けた動きに思える。

### <テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACD が上昇し、シグナルも上昇している。RCI では短期が下げだし、長期は上昇している。ただ日足が 10 日移動平均線に対する乖離幅の縮小を見せており、40 日移動平均線に向けた修正には注意が必要と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,377,000 円(2024 年 9 月 30 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 73,920 円(2024 年 9 月 30 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>